放課後等デイサービス事業者 自己評価 検討結果

R5年度(R5年7月~R6年3月)

事業所名:子どもスポーツスクールするが 検討日時:R6年3月19日(火曜日)

	工夫している点	課題	改善目標
環境・体制整備	・死角がないように、オープンフロアにしている。支援が隅々まで行き届く。	・2Fへのトイレ設置。	・来年度トイレ2F設置を目途とする。なお、2F設置後も
	・今年度空調を整備したことで、自然室温で過ごすことを基本としながらも、体温 調整が苦手な子どもにも適宜合わせられるようしている。	・駐車場の分かりやすさ。	療育の一環として1Fトイレも適宜使用する。
		・会議時等の集中できる場所。	・駐車の場所を写真付き文書で周知を図るとともに、送
		・保護者への新規職員の周知。	迎が重なる時間帯は出来得る限り駐車案内する職員
	・いつも行ける場ではなく、必要な場合にパーテーションで個室を作ってクールダ	MIX II TO WITH A COLUMN TO THE	を置く。なお、引き続き近隣の安全な一団の駐車場確
	ウンしたり集中して勉強したりできるようにしている。		保に努める。
	│ ・通常級の利用児も多いため、教員経験のある職員に多く勤務してもらい、今ま		・来年度移動式壁の設置を目途とする
	 での経験を生かして喧嘩などのトラブルなどにも対応している。		・職員の名前・顔を保護者に覚えていただけるよう、
			「職員一覧」を掲示する。
業務改善	・管理者が毎日「今日のテーマ」を決め、それを職員予定表に書き込み、そのテ	・職員によって対応の差がある。	・研修等により新規職員教育を強化する。
	ーマ(目標)を意識して療育に取り組んでいる。療育終了後、今日の目標はどう		
	だったかを話し合い、次に生かしている。		
	・毎日「担当場」「担当業務」などを決め、支援に偏りがないようにしている。		
	・新規決定した療育方法などの共通理解したいことに関しては、予定表に書く等		
	して、パート職員も共通理解できるようにしている。		
適切な支援の提供	・運動以外でも、書道・買い物活動・外出活動・イベント開催などで、様々な経験	・外出や避難訓練等は平日のみの	・利用日の調整を図るとともに、平日に行える外出活動
	ができるよう工夫している。	利用者の参加が難しい。	等も検討する。
	・運動も、固定せずに、楽しい気持ちで様々な運動ができるよう工夫している。ま		
	た、一人での運動だけでなく、ペアやグループでの運動で、コミュニケーションカ		
	を育てている。		
	・近隣の方も呼んだ「運動会」、「ランニング」のなどのイベント開催。		

関係機関や保護者	・相談支援事業所とのサービス担当者会議に出席している。	・保護者会への参加増。	・書き込み型のオンライン保護者会だけではなく、オン
との連携	 ・学校や子ども相談センターなどとの会議が開かれた際には、資料を作り、出席		 ライン会議による保護者会等の開催を検討する。
	している。		
	・保護者へは、お迎え時や車輌送迎時に、当日の様子を伝えている。		
	・LINE や電話でも相談を受け付けている。		
	・保護者から詳しい相談をしたいとのお申し出があった場合には、事業所内相談		
	などの制度を使い、時間をとって相談を受けている。		
	・コロナ対応などで対面での保護者会は開けなかったので、オンライン保護者会		
	(書き込み型)を開催し、保護者同士で悩みを共有したりアドバイスを書き込んで		
	もらったりしている。		
	・「運動会」の開催で、保護者同士が集まる機会を作った。		
保護者への説明責	・苦情内容の確認は即日に行い、職員間で共有している。	・緊急対策マニュアルについて、把	・マニュアルについて、定期的にお知らせをする。
任等	・怪我や喧嘩で気持ちの変化の心配がある際は、送迎時に保護者に状況報告	握できていないとの意見があった。	
	を行っている。更に詳しく伝えたい場合は、LINE で対応をしている。		
	・新規利用者については、契約開始時に、利用料金や、放デイの仕組み等につ		
	いて説明している。特に事業所併用の利用者には、注意点などを具体的に説明		
	した。		
非常時の対応	・避難訓練を療育中に実施した。毎月非常時の対応訓練として、「職員内訓練」	まだ参加したことがないという意	・訓練実施について、毎月の予定表で保護者へ周知す
	か「避難訓練」を行っている。	見があった。	るとともに、様々な曜日で取り組めるよう調整する。
	- 「外出時避難訓練」を実施している。		
	・避難経路図、事故対応マニュアルを作成し、室内に掲示している。		
	・焼津市河川課と共に、洪水時の避難計画を作成し、提出している。		